

◆ 横田修一氏（平成9年度農学部卒）が第52回
農林水産祭天皇杯（農産部門）を受賞

平成9年度に農学部を卒業した横田修一氏が第52回農林水産祭天皇杯（農産部門）を受賞しました。

農林水産祭天皇杯とは、過去1年間の農林水産祭参加表彰行事において、農林水産大臣賞を受賞した出品財のうち、その内容が広く社会の賞賛に値する業績について授与される最高位の表彰です。それに次ぐ業績については、内閣総理大臣賞又は日本農林漁業振興会会長賞として表彰されます。この三賞は、農産部門、園芸部門、畜産部門、蚕糸・地域特産部門、林産部門、水産部門、むらづくり部門の7部門に授与されます。

横田さんは大学で農業経営を学び、卒業後は家業である農業（水稻）を継ぎました。横田さんが経営する有限会社横田農場は龍ヶ崎市内にあり、県下でも主要な穀倉地帯です。経営面積は平成24年時点で88ヘクタール、その水田のほとんどを田植機とコンバイン各1台で作業しています。農機が自走できる範囲で効率的な運用を図り、米の生産に係るコストは全国平均のおよそ半分となっており、大幅なコスト削減を実現しました。

横田農場では、自主販売・販路拡大にも力を注ぎ、横田農場で生産する米の約9割は、消費者、量販店等へ直接販売されています。また、自社生産の米粉を100%使用したスイーツなど米粉製品の加工販売を行うほか、加工業者へ出荷する体制を整え、加工用米としてお酒、おせんべい、お餅、味噌麴などに使用されています。



自社生産米粉100%のシフォンケーキ

この度、このような低コスト化、加工・販売面も重視した経営が評価されました。高齢化と担い手不足が深刻となっている地域農業において、横田農場は地域からも大きく期待されています。



有限会社 横田農場
代表取締役
横田 修一 氏
(茨城大学農学部卒)